

第 5 回 全 体 会 議 事 録

実施日時	平成 22 年 2 月 22 日 (月) 14:00 ~ 16:00
場 所	福井県職員会館302号室
出席者 (敬称略)	(会長) 菊沢 正裕 (副会長) 中野 佐知子
	(委員) 有賀 祥夫、池田 和子、井上 博行、井上 義一、岩本信義、梅澤 正嗣、梅田 徳美、桶谷 治寛、笠羽 末子、上屋敷 洋子、久保田 千鶴子、島田 行雄、清水 武正、竹下 美代子、谷野 巖、堤端 充、藤堂 幸重、中川 敦士、野村 昭一、藤澤 憲治、藤原 一功、宮腰 忠實、山本 靖夫、渡辺 真江 (計26名)
	(事務局) 近藤課長、宮越、辻
議 題	<p>1 報告事項</p> <p>(1) 学校版環境 ISO での学校訪問の結果</p> <p>2 審議・協議・意見交換</p> <p>(1) 内部評価のまとめ(平成21年度 活動の振り返り)</p> <p>(2) 平成22年度の事業計画</p> <p>(3) 平成21年度の決算見込み</p> <p>(4) 平成22年度の予算案</p> <p>(5) 平成22年度の福井市環境展について</p> <p>3 その他</p> <p>(1) 環境教育ネットワークプロジェクトの活動報告</p>
進行及び 要 旨	<p>報告</p> <p>(1) 学校版環境 ISO での学校訪問の結果</p> <p>○今年度は、制度初の更新であり、模索しながらおこなった。学校訪問の結果、学校の中で引継ぎが十分でないケースがあったので、来年度からは全校を対象とした研修会(希望制)を実施しながら、新しく担当となった先生の質問等に答えていきたい。</p> <p>・これまで実施してきたなかで、学校訪問の方法等で改善点があると思う。</p> <p>例えば、学校訪問と自校評価では、基準が違うためか、評価に開きがある。</p> <p>→学校訪問と自校評価では当然基準が違う。これまでの経緯もあり評価方法は変更出来ない。(評価は、他校と比較するためのものではない。)</p> <p>→新委員についての学校版の説明は、秋頃もしくは機会のある時にする。</p> <p>審議・協議 ※便宜上、実際の発言順を変更している部分があります</p> <p>(1) 内部評価のまとめ(平成21年度 活動の振り返り)</p> <p><全体会の運営></p> <p>○行政委員が少ないのは、過去に他課職員を委員任命したが、効果が得られなかった経緯がある。連携したい場合には、直接、環境課から課長クラスへ話を通した方が効果的である。</p> <p><基本計画年度報告の意見集約></p> <p>・検討時間が少なかったのが残念である。その為、事務局主導の感が否めない。</p> <p><福井市環境展></p> <p>○事務局は、裏方として皆さんの企画実現に努めていきたい。</p> <p><FEPSの自己評価の方法></p> <p>・提出率50%は少ないのでは?</p> <p>→催促をしなかったこともあり、多忙で忘れていて提出できなかったのでは。</p>

⇒ボランティア活動なので、提出を義務付けるのはいかなものか。
⇒ボランティア活動でも、必ず提出すべき内容のものではないか。
⇒活動の振り返りなので、記述式の設問になってしまうのが仕方ないが、「よくわからない場合は空欄でよい」等、気楽に回答できるように工夫してほしい。

・このような設問は、一番最後が望ましい。

＜プロジェクトの活動＞

・ P J メンバーへ FEPS 活動情報や運営方針が届かない。逆に、 P J メンバーの声が、全体会へ届ける機会がない。全体会はオープンな場であるが、工夫は必要。
・ 各 P J 同士の連携を図るために、部会制を廃止し、全体会を中心にしてきた。互いに P J 活動に参加してみるのが一番の近道。

(2) 平成 22 年度の事業計画

・ 市民へ新プロジェクトの提案を年度当初にするはずではなかったか？
→ 抜け落ちていたので、追加する。(募集は、7 月～9 月末まで)

(3) 平成 21 年度の決算見込

資料のとおり

(4) 平成 22 年度の予算案

○ 来年度は、 P J 予算の一律配分を止めて、活動規模に応じて決定します。

(5) 平成 22 年度の福井市環境展

○ 6 月 19 日 (土) の A P E C の会議の開催場所は、まだ公表できないが、市内で開催するので、当日の会議自体を盛り上げるイベントと考えてほしい。

○ 会議関連の分散会に関する情報は、何も無い。(集会があるのか不明)

○ 今年度の流れからは、後退の感が否めない。今回は、与えられた枠の中で、できることを企画していきたい。環境ゾーンとしての割当ては、5 階と 6 階であり。FEPS は、6 階フロアのみでの活動になる。5 階は福井市で企画する。(企画内容等により、FEPS が 5 F の一部を利用することも調整可能。)

○ 他の団体に参加を求めないが、委員の皆さんが企画する中での協働は、積極的にしていただきたい。

・ 6 月の A P E C フェア内での環境展だけで終わらず、秋にイベントを企画するならば、納得できる。

・ 毎年、9 月 22 日のカーフリーデーには、エコプランふくいやロバの会がイベントをしているので、関連して FEPS イベントをしてはどうか。

・ 県の環境フェアは 5 月 22 日 (土) に開催すると聞いている (内容不明)

方 針

① 各 P J を中心に、企画を検討し、できるものを、できる範囲で実施する。
(一日中の企画でなくとも、2 時間程度の企画でもよい)

② 企画の実施にあたっては、各 P J や企画者でおこなう。(事務的なことは、事務局と協力して役割分担に注意する)

③ 他の団体に、参加を呼びかけることはしない。だが、委員が所属している団体が企画するのはよい。

④ FEPS は 6 階 (調理室、工作室、レクレーションルーム A、607 研修室) で企画 ※レク A と 607 研修室は、スクール形式で 80 人収容可能。

※ 個人や所属団体に企画する場合は、同封の用紙を利用して、3 月 17 日 (水) までに提出してください。